

知っていますか？

1 下水管の長さ

道路の下には、直径が25cmから4m60cmくらいの太さの下水管が入っています。金沢市内の下水管の長さは約2,250km(まっすぐつなげると、金沢から台湾まで届く距離)です。

2 処理場できれいにしている下水の量

金沢市には4つの処理場があります。城北水質管理センターでは1日に約9万3千^{m³}(25mプール約370ぱい分)を浅野川へ、西部水質管理センターでは約4万8千^{m³}(25mプール約190ぱい分)を伏見川へ、臨海水質管理センターでは約2万8千^{m³}(25mプール約110ぱい分)を大野川へ、犀川左岸浄化センターでは約1万9千^{m³}(25mプール約80ぱい分)を安原川へ、それぞれ下水をきれいに流しています。

これらの処理場で金沢市の人口約46万人のうち、約98%分の下水をきれいにしています。

なお、犀川左岸浄化センターでは、金沢市以外に野々市市や白山市の一部(鶴来地区)の下水もきれいにしています。

3 処理場できれいになった水の利用

処理場できれいになった水をさらに砂ろ過機できれいにして、こいの池の水、処理場の機械を冷やす水、道路の雪をとく水、野球場やサッカー場にまく水などに利用しています。

4 処理場からはこびだす1日分の脱水ケーキの量

城北、臨海、犀川左岸3つのセンターでは、1日にあわせて約50トンの脱水ケーキを城北水質管理センターにある焼却炉で燃やしています。

西部水質管理センターでは、とりにある西部環境エネルギーセンターでゴミと併せて、1日に約12トンの乾燥ケーキを燃やしています。

5 処理場で働いている人数

下水は1年中昼も夜も流れてくるので、城北水質管理センターでは昼は40人、夜は4人が1年中休みなく、1日1週間働いています。

(お問い合わせ先)



水処理課

金沢市浅野本町ホ131番地

☎ 076-252-1439

金沢の下水道

下水処理場

見学のしおり

下水道の役わり

下水道ができると、家や工場から出るよごれた水はすべて下水管に入ります。

1 まちがきれいになり、すみよいくらしができるようになります。

水洗便所が使えるようになり、台所、ふろ、洗たく機などから出る水が下水道に入るため、用水やみぞがきれいになり、はえやか・臭いが発生しなくなります。

2 川や海がきれいになります。

よごれた水は処理場できれいにしてから川へかえすので、数多くの魚が住めるようになり、安心して水あそびや海水浴が楽しめるようになります。

●● 下水道からのお願い ●●

★下水管やますがつまってしまうので、つぎのものは流さないようにしてください。

トイレ…ティッシュペーパー、生理用品、下着、紙おむつなど
(トイレットペーパー以外のもの)

台所…食べ残したおかず、ごはんつぶ、野菜いくず、天ぷら油、割ばし、ゴミなど

★処理場でよごれを食べている微生物が死んでしまいますので、つぎのものは流さないようにしてください。

洗面所やふろ場…必要以上の石けん・洗剤・シャンプー・菌みがきなど

台所…ひょう自剤

★処理場に流れてくる下水があふれ出してしまうので、下水管のふたをあけて、雪やゴミを入れないように気をつけてください。

下水道のしくみ

1 ポンプ場と沈砂池

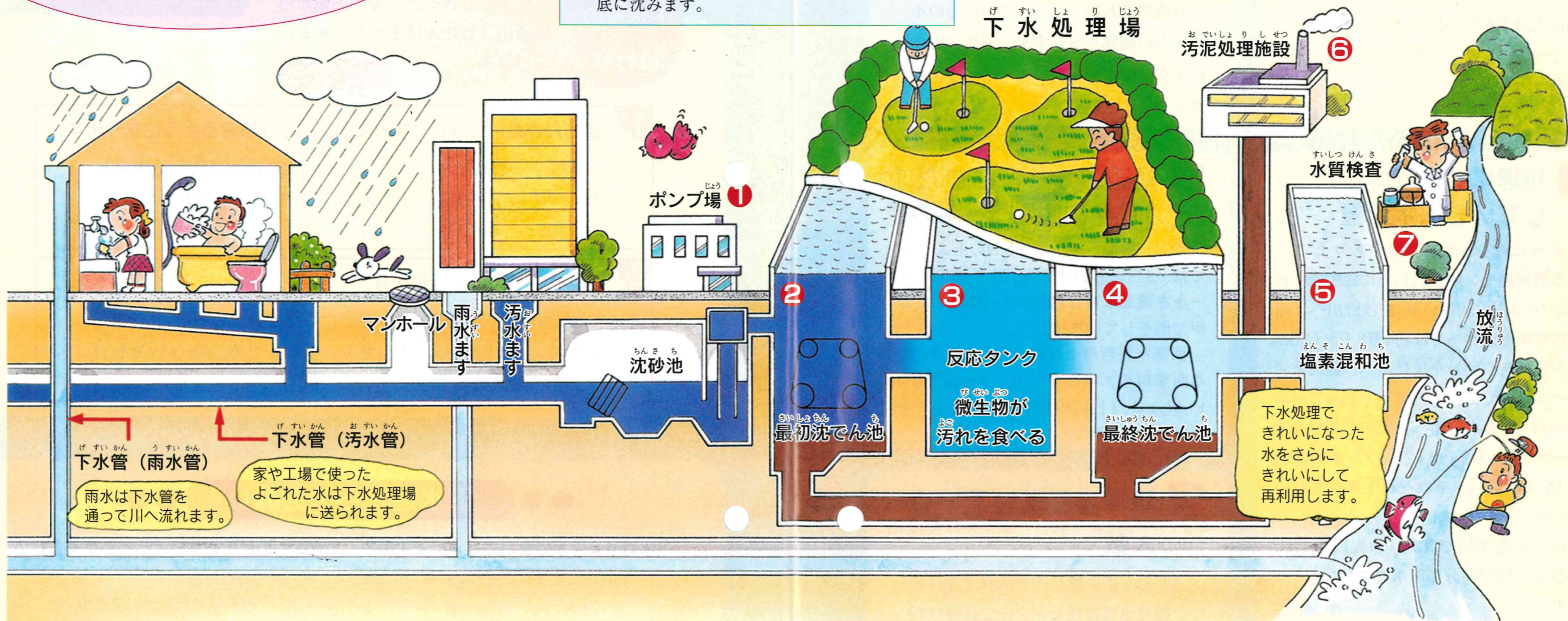
下水管を通ってきた汚水を、この池でゆっくり流し、土砂や大きなゴミを取りのぞいて、ポンプで処理場へ送ります。

2 最初沈でん池

沈砂池から送られてきた汚水は、この池をゆっくり流れる間に、細かい泥やゴミが底に沈みます。

3 反応タンク

最初沈でん池から送られてきた汚水に、微生物の入っている汚泥を入れ、空気を吹きこみながら長い時間かきまわします。すると微生物が元気になって汚水中のよごれを食べてふえ、沈みやすい汚泥のかたまりになります。



4 最終沈でん池

反応タンクから送られてきた汚水は、この池をゆっくり流れる間に汚泥のかたまりが底に沈んできれいな水になります。

5 塩素混和池

最終沈でん池から流れてきたきれいな水に、薬品を入れて消毒したあと、川へ流します。

6 汚泥処理施設

最終沈でん池で沈んだ汚泥のうち、必要な量は反応タンクにもどします。この汚泥は、最初沈でん池にたまった汚泥といっしょに水分をしぼりとり脱水ケーキにしたあと、焼却して灰にします。

7 水質検査

よごれをとって消毒した水は、もう一度利用したり川に流しますが、このとき魚が住めるきれいな水になっているかどうか、たしかめます。